

前方不注意か？

車線変更 ⇨ よそ見 ⇨ 追突事故

「右車線に車線変更をするため、右後方を見ていた」

2015.9.5

4日午後7時25分ごろ、男性(31)が、東京都で乗用車を運転中、追突事故を起こしていたことが5日、警視庁高速隊への取材で分かった。男性が前方を走るタクシーに追突し、さらにタクシーが前の別の乗用車に接触した。けが人はいなかった。男性は「右車線に車線変更をするため、右後方を見ていた」と話しているという。高速隊は男性が前方不注意だったとみて詳しい経緯を調べている。

■こんなときは、運転ストップ！

信号待ちでつい目をつぶってしまうのは、すでに危険な状態です。自動車運転中に一瞬でも記憶が飛ぶようなら、すぐに車を止めて休む必要があります。

ドライバーは、“こまめに休憩！”
“重大事故”が発生してからでは、“遅い”

2時間ごとに、15分休憩！

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い
低速で追従するときは…
○極端に「車間」をつめない
○低速走行に「安心して」…長い「わき見」をしない
○「肝心なもの」を見る、「注意力」を養う

- スピードの出し過ぎによる、単独事故や正面衝突事故
- 交差点での、歩行者・自転車の巻き込み事故

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ〜し！」

交差点 右折のトラックと直進の軽乗用車衝突 88歳男性が死亡

(2015/9/15)

14日大分県の交差点で軽乗用車とトラックが衝突し、軽乗用車を運転していた88歳の男性が、15日朝死亡しました。14日午前、直進していた軽乗用車が、交差点の左側から右折しようとしたトラックと出会い頭に衝突しました。現場は片側2車線の国道と市道が交わる交差点で、双方に信号機が設置されています。警察は当時の信号機の状況を確認するなど、事故の原因を調べています。

深夜 交差点、自転車と衝突、自転車の男性死亡

2015年9月16日

警察は15日、栃木県内の交通事故で重傷を負い入院していた、アルバイト店員男性(27)が、事故を原因とする急性硬膜下血腫で死亡したと発表した。同署によると、9日午前0時25分ごろ、交差点で、会社役員男性(53)の乗用車と男性の自転車が衝突した。男性は頭の骨を折るなど重傷を負っていた。

トンネル内 大型トラックが乗用車に“追突”し、55歳男性死亡

(2015年09月07日)

6日午後4時半ごろ、富山県のトンネルで、大型トラックが乗用車に追突し、乗用車を運転していた55歳の男性が死亡しました。警察は、大型トラックを運転していた新潟の36歳の男性から話を聞き、事故の原因を調べています。

午後3時 下校途中の歩道の小6男児はねられ意識不明の重体

2015年9月8日(火)

8日午後3時ごろ、埼玉県の市道で、歩道を歩いて下校途中の小学校6年の男子児童(11)が、歩道に乗り上げてきた乗用車にはねられた。男子児童は病院に搬送されたが、頭の骨を折るなどして意識不明の重体。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、乗用車の無職男性容疑者(76)を現行犯逮捕した。容疑者は道路沿いにある病院の駐車場に駐車しようとしていたところ、運転操作を誤って道路に出て、右方から進行してきた男性会社員(47)のワゴン車と衝突。さらに対向車線の歩道に乗り上げて道路標識に衝突し、男児をはねた。男児は下校途中で、友人とともに現場の歩道を歩いていたという。